

第 1 回 えびな南高齢者施設 運営協議会 会議録

日時：2025 年 6 月 7 日（土） 13：50～16：15

場所：地域交流室（1 階）

参加者：（敬称略）

地域住民代表（自治会役員）	3 名
ボランティア代表	1 名
家族代表	1 名／1 名（欠席）
施設職員代表	1 名（福祉総務課生活相談係 係長）
所長（司会）・副所長（記録）	2 名

1. 挨拶、会議員自己紹介

今年度、最初の会議のため、参加者それぞれより自己紹介を行う。

2. 運営協議会の目的について

- （1）要綱の確認・・・・・・・・・・・・・中心会運営協議会 実施要綱参照
実施要綱に基づき、運営協議会の開催目的や構成する会議員、会議の議題について、所長より説明を行った。また、会議の記録を作成するとともに、名前を伏せた形でホームページに掲載していることや過去の記録も掲載していることを説明する。
- （2）中心会についての概略説明
 - ①社会福祉法人の特徴について・・・・・・・・・・・・・全国経営協紹介動画・資料参照
全国経営協の動画を見ていただき、社会福祉法人の特徴や活動内容について説明。社会福祉事業のみを行う組織であり、利益は地域に還元することが決められていることを説明する。地域で困っている方の支援として、ライフサポート事業や災害時の支援として、能登半島の震災では職員が応援派遣に行ったことや募金活動を行っていることを説明する。
 - ②法人のあゆみ・・・・・・・・・・・・・パワーポイントで説明
中心会のスローガン“あなたがいてくれて良かった”と思える街づくりについて
- （3）えびな南高齢者施設の概略説明・・・・・・・・・・・・・えびな南パンフレット参照
建物内の事業について紹介をする。
 - ・養護老人ホーム、特別養護老人ホームの違い等
 - ・ケアセンター、地域包括支援センターがあることについて等

3. 活動状況の報告

- （1）2024 年度の実績について
 - ① 運営状況・・・・・・・・・・・・・資料①
養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスの運営状況について資料にもとづき説明する。
 - ②ボランティアについて・・・・・・・・・・・・・資料②
資料をもとに、ボランティア協力の内容、人数などについて報告する。

③ 事故・苦情について 資料③

資料にもとづき、2025 年 4 月～6 月で発生した事故件数と特徴について報告する。

④ 防災関係 ～ 訓練の実施状況 資料④

資料にもとづき、1 年間の訓練内容について報告。また、1 月に発生した養護老人ホームの火災について状況を報告する。

喫煙をする利用者の居室から出火となったが、利用者の喫煙を禁止することや退去を促すということとはしない考えであることを補足説明する。

(2) 感染症の発生状況について 資料⑤

資料にもとづき、1 年間の発生状況について報告する。

(3) 社会福祉法人としての公益的取組み

① ライフサポート事業 ② 就労支援事業

→ 広報誌の裏面に掲載して、地域にも回覧していることを伝えた。

(4) 職員代表から（福祉総務課 生活相談係係長より 事業の紹介をする）

ライフサポート事業の取組について、資料をもとに説明。

- ・生活が困窮している方に、年齢問わず対象者を限定せず必要な支援をしている。
- ・制度の狭間にいる人への支援は社会福祉法人の役割であること等。
- ・県内の参加法人数、資金の仕組み、相談の流れ等
- ・相談内容の事例紹介

ご意見・ご質問

Q.（相談事例より）生活困窮者は、生活保護” があるのでは？

A. 生活保護につなげる事例もある。今回紹介した事例は、就労により収入を得ていたのに失業により仕事がなくなってしまった。就労する能力はあるため、仕事を探せる、その活動ができる状態にすることを支援した（携帯電話がなければ仕事を探せない等）。

2. 地域住民代表者より

- ・介護で大変なのだろうと思っていましたが、人材不足はどの職業でも問題です。
- ・働こうとしない人もいる世の中で、何とか仕事を続ける気持ちになるようにしていくことは苦勞するところだと思います。
- ・採用した後の苦勞もあることと思います（育成）。
- ・市外の特別養護老人ホームで身内がお世話になっています。差し入れの連絡が度々来て家族としてはちょっと大変。そうではない所もあるし、様々なですね。
- ・施設の考え方は、地域によって体制が違うのでしょうか。

回答 → 地域というよりも、施設の方針によって違いがあると思います。

- ・ライフサポート事業の活動と民生委員の活動と、どこが違うのでしょうか。

回答 → 民生委員の方は、地域で困りごとがあった際に、地域包括支援センター等につなげていただいています。困りごとがないか担当のエリアの方達から相談事を聞き、関係機関につなげるなどがメインになると思います。

ライフサポート事業は、組織が異なっていて、県内の社会福祉法人が協力しあって拠出し、生活困窮の方々に必要に応じて支払い、食料提供などを行なっています。もちろん、制度につなげる場合もあります。

3. ボランティア代表より

- ・ボランティア活動が再開できてよかった。
- ・マスクを着用しながらの活動でなかなか外せないですが、自分も元気で続けられるうちは頑張ろうと思っています。

4. ご家族代表より

- ・在宅サービスも利用しました。その時もこの会議に参加して情報を得ていました。
- ・参加することで施設のことがわかるようになってきました。

5. 次回の日程 第2回えびな南高齢者施設運営協議会 9月 6日（土） 10時 ～ 12時